



定期的な歯科健診が大切

守れていますか お口の健康

■問い合わせ いきいき健康課 ☎ 23-3220



歯周病は加齢と共に増加し、50～60歳代では歯を失う主な原因になっています。

重度の歯周病を放置すると、誤嚥性肺炎をはじめ糖尿病、心疾患など、さまざまな病気のリスクが高くなります。楽しく社会参加を続けるために、お口の健康と機能を守ることが大切です。

自分のお口の状態を 調べてみませんか

市では、後期高齢者歯科口腔健診を行っています。この健診では、歯や入れ歯の状態を確認するだけでなく、かむ力や飲み込む力、舌の動き等の「食べる力」も調べます。

対象 76歳～85歳の人（昭和11年4月2日～昭和21年4月1日生まれの人）

※対象者には、8月下旬に「歯科口腔健康診査受診券」を送付しています。

期間 11月30日（火）まで（歯科医療機関の休診日を除く）

料金 年1回に限り無料

受診方法 受診する歯科医療機関に予約して受診

※詳しくは、対象者に配布している「後期高齢者歯科口腔健診のご案内」を確認ください。

お

口の定期健診を受けていますか
むし歯や歯周病は、気になる症状が出てからだと何回も治療に通わなければならぬことがあります。「痛みがないから」「今のところは支障がないから」とお口の健診は後回しになっていませんか。痛いところがなくとも歯科医療機関に行き、少なくとも1年に1回はお口の健康チェックと歯垢や歯石を除去してもらいましょう。

防

ごうオーラルフレイル
食べる、話をする、表情をつくるなど、私たちは、お口を働かせています。しかし、お口の機能は加齢とともに少しずつ低下します。これを「オーラルフレイル」といいます。これを放置していると、全身の活力低下を引き起こし、要介護状態を招くことが分かってきました。

「オーラルフレイルになりました」

★ 歯科衛生士を募集しています ★

市が幼稚園・保育施設、小学校や地域などで行っている歯科保健事業は、歯科衛生士の皆さんに協力いただいで運営しています。

市民の皆さんの歯と口の健康を守るために、一緒に働いていただける人を募集します。

主な業務

妊婦歯科検診や乳幼児健診での歯科相談・歯科健診介助、幼稚園・保育施設・小学校での歯科教室、事業所や地域での健康教室など

【問い合わせ】 子ども未来課 ☎ 23-3222

「痛みがないから」「今のところは支障がないから」と感じたら、早めの対策をとることが大切です。かみ応えのあるものを食べる、しっかりと声を出す、定期的に歯科健診を受けるなど、できることから始めましょう。